

既存交通を活用したコミュニティサイクル

伊藤孝紀 (社会工学専攻)

エコ・バイシクル・ツアー 社会問題を社会還元要素へ

技術概要

社会問題になっている放置自転車および都市内での自動車など交通機関の混雑を改善することを目的に開発されたコミュニティサイクルです。電子マネー（交通系 IC カード）による個人認証と決済を実現することで、地下鉄やバス、電車など既存交通機関と連携した利用が可能です。

背景・従来技術

レンタサイクルの形態のひとつであり、街の一定範囲内において各所に設置してある自転車を好きな場所で借り返却することができるシステムである。パリやバルセロナなどの海外では、中心市街地の公共交通の一環として認識されています。



特徴

決済と個人認証が可能な電子マネーを用いることは世界で初めての試みです。無人で精算することができるため貸し借りに時間がかからず、手軽に利用することができます。景観やゴミ処理問題を引き起こす放置自転車は、そのままにしておけば社会問題になりますが、これを有効に活用して社会還元に変えるシステムです。

実用化イメージ

既存の交通機関と連携を図り、その役割を補填することで、利用者を限定しない仕組みを生み出せます。運営側の収入源は利用料のほか、民間の広告掲示料が考えられます。



世界初となる「交通系 IC カード」を利用した個人認証と決済システム

企業への提案

研究者から企業へのメッセージ

環境問題や町づくりに関心のある方に限らず、ご関心のある方は、どなたでもお気軽にご連絡を下さい。

試作品状況

無

提示
可

提供
可